

YACかわら版 474

宇宙関連情報

スターシップ統合テスト4成功から嫦娥6号の月裏面からのサンプルリターン成功まで、今月は多くの宇宙関連ニュースがございましたが、YACかわら版の誌面では多くが対応できていません。

限られたスペースですが、幾つかのニュースをざっくり説明します。

<嫦娥6号>

6月25日のNHKニュースが報じました。

“月の裏からサンプル” 中国の無人月面探査機カプセルが帰還

2024年6月25日 19時20分

中国政府は、無人の月面探査機「嫦娥（じょうが）6号」が月の裏側で採取した岩石などのサンプルを収めたとするカプセルが、25日午後、地球に帰還したと発表しました。月の裏側のサンプルが確認できれば世界で初めてとなります。以下略

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240625/k10014491441000.html>

月の表側で岩石など採取した「嫦娥5号」と同じように成功させた中国の科学力に感心します。



<スターライナー>

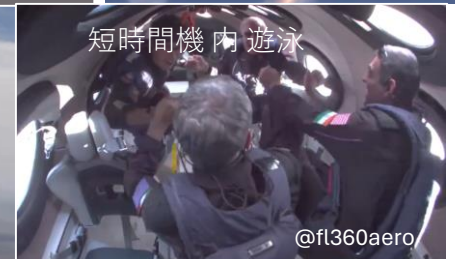
スターライナー宇宙船の近影です。ISSが地中海上空約423kmを通過する中、ドッキングしている様子が撮影されました。

6月6日にISSにドッキングした後、わずか1週間滞在する予定でしたが、現時点では、少なくとも7月初旬まではドッキングしたま



<スペースシップ2>

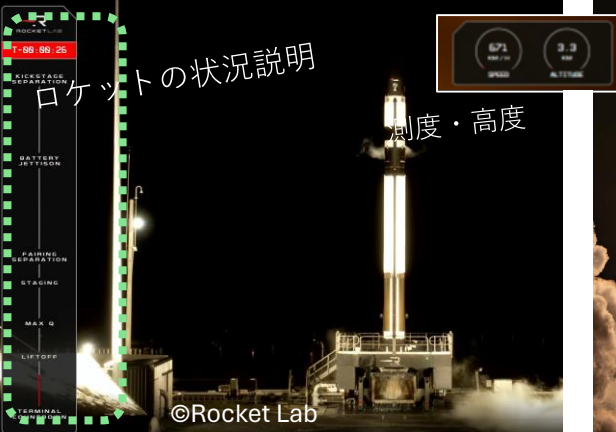
6月9日、アメリカの民間企業ヴァージン・ギャラクティック社の宇宙船「スペースシップ2」(VSSユニティ)は同社7回目の商業宇宙飛行「Galactic 07」に成功しました。高度80km以上に達した後、無事地上へ帰還しました。



<エレクトロン>

6月21日ニュージーランドのマヒア半島のロケットラボ社の50基目のエレクトロンロケットが打上げられました。2017年5月の初打上から、わずか7年後で50番目の打上です。





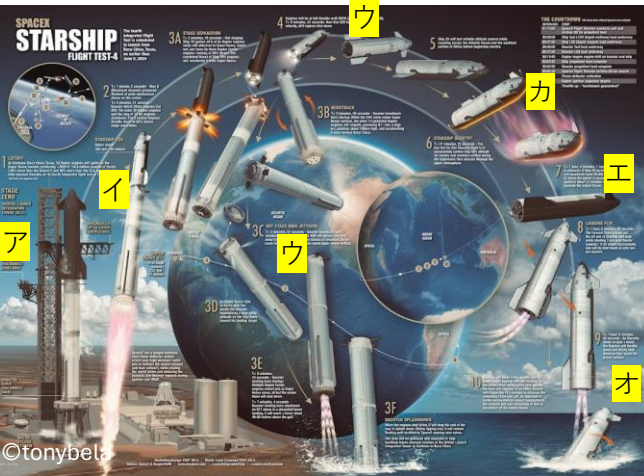
動画にロケットの状況が表示されるので興味深いです
＜長征2号C＞

6月22日中国航天科技集团公司 (CASC)は西昌（せいしょう）衛星発射センターから長征2号Cロケットを使って、ガンマ線バーストを研究する中国とフランスの共同開発したX線衛星をを軌道に打上げました。（SVOM）



＜スターシップIFT-4＞

6月6日、テキサス州のスターベースからスペースX社のスターシップIFT-4（第4回統合飛行試験）が打上げられ成功しました。



スペースX社の当日の動画の幾つかの印象的な場面を、トニー・ベラ氏イラストを索引にして紹介します。
<https://youtu.be/lx-la4lqYIA>



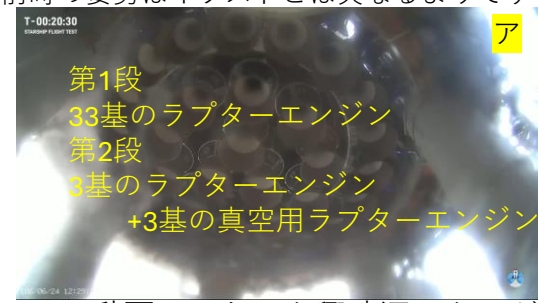
打上10分39秒前
燃料等搭載情報



表示される情報がすごい。夏休みの自由研究で他のロケットと比較したいですね



* エオ着水寸前時の姿勢はイラストとは異なるようです



スペースX社から公開されている動画は、とても興味深いものがあります。何回も見てしまいます。スペースX社が、今回の統合飛行試験を終えた後、自社でのまとめを公表しています。その一部を意識で紹介します。

<https://www.spacex.com.translate.google/launches/mission/?missionId=starship-flight-4&xtrsl=auto&xtrtl=ja&xtrhl=ja>

- ・第1段ブースターの飛行は、飛行開始から7分24秒後に着陸噴射とメキシコ湾への軟着水で終了した。
- ・4回目の飛行は、スターシップが中央のラプターエンジン3基に点火し、初の反転操作と着陸噴射を実行し、打ち上げから1時間6分後にインド洋に船が軟着水して終了しました。

＜SLIM＞

JAXAは6月28日、3回の「越夜」を成功している「SLIM」について、今後通信できる可能性は低いと明らかにしました。残念。奮闘感謝。